



Cisco 10000 シリーズ ルータ コマンド クイック リファレンス ガイド



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコシステムズが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメイン バージョンの一部として、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取引によって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコシステムズまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCIP、CCSP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、Fast Step、GigaStack、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、MGX、MICA、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という用語を使用しているも、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0304R)

Cisco 10000 シリーズ ルータ コマンド クイック リファレンス ガイド

Copyright © 2003, Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



コマンド クイック リファレンス	1
コンフィギュレーション モードおよびプロンプト	2
コマンドの掲載箇所	3
show コマンドの拡張	5
アカウントिंगおよび認証コマンド	5
ATM Virtual Circuit (VC; 仮想回線) コマンド	6
基本的な CLI (コマンド ライン インターフェイス) コマンド	7
基本的なファイル転送サービス コマンド	9
基本的なシステム管理コマンド	9
ブロードバンド アクセス : PPP およびルーテッド ブリッジ カプセル化コマンド	10
ブート コマンド	11
Cisco IOS ソフトウェアのファイル システム コマンド	11
コンフィギュレーション ファイル管理コマンド	12
接続、メニュー、およびシステム バナーのコマンド	12
DHCP コマンド	13
ダイヤル テクノロジー コマンド	13
フレームリレー コマンド	15
インターフェイス コマンド	15
IP アドレス指定コマンド	18
IP マルチキャスト ツール コマンド	18
IP ルーティング プロトコルに依存しないコマンド	18
IP サービス コマンド	19
ISO コネクションレス ネットワーク サービス コマンド	19
ロックおよび鍵のコマンド	19
Parallel Express Forwarding コマンド	20
パスワードおよび権限コマンド	22
Quality of Service (QoS; サービス品質) コマンド	23
RADIUS コマンド	24
冗長構成コマンド	24
ルータ メモリ コマンド	24

Service Selection Gateway (SSG) コマンド	25
スイッチング サービス コマンド	29
端末動作特性のコマンド	30
端末サービス コマンド	30
トラブルシューティングおよび障害管理のコマンド	31
SONET および T3 コントローラ コンフィギュレーション コマンド	32
その他のコマンド	33

索引



表 1	コンフィギュレーション モードおよびプロンプト	2
表 2	コマンド サマリー	3
表 3	SONET コントローラ コンフィギュレーション モードのコマンド	32
表 4	T3 コントローラ コンフィギュレーション モードのコマンド	32



コマンド クイック リファレンス

このマニュアルでは、Cisco 10000 シリーズ ルータ上で実行する多数のコマンドの概要を紹介し
ます。ライン カードによっては、また Cisco IOS のリリースによっては、コマンドが異なる場合があ
ります。たとえば、T3 インターフェイスのコントローラ コンフィギュレーション モードには、
SONET のコントローラ コンフィギュレーション モードより多くのコマンドがあります。

コマンドの詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『[Cisco 10000 Series Internet Router Software Configuration Guide](#)』
- 『[Cisco IOS Software Command References](#)』
- 『[Cisco 10000 Series Internet Router Broadband Aggregation Configuration Guide](#)』
- 『[Cisco 10000 Series Internet Router Useful Links](#)』
- 『[Cisco 10000 Series Internet Router Line Card Slot Preprovisioning](#)』 フィーチャ モジュール



(注) Cisco 10000 シリーズ ルータでサポートされないコマンドおよび引数については、『[Cisco 10000 Series Internet Router Troubleshooting Guide](#)』を参照してください。

コンフィギュレーション モードおよびプロンプト

表 1 に、このマニュアルで扱うコンフィギュレーション モードとそのモードに対応するプロンプトを示します。

表 1 コンフィギュレーション モードおよびプロンプト

コンフィギュレーション モード	プロンプト
ROM モニタ	rommon>
ユーザ EXEC	Router>
イネーブル EXEC	Router#
グローバル	Router (config) #
インターフェイス	Router (config-if) #
VC クラス	Router (config-if-atm-vc-class) #
VC	Router (config-if-atm-vc) #
コントローラ	Router (config-controller) #
QoS クラス マップ	Router (config-cmap) #
QoS ポリシー マップ	Router (config-pmap) #
QoS ポリシー マップ クラス	Router (config-pmap-c) #
VPDN グループ	Router (config-vpdn) #
BBA グループ	Router (config-bba) #
DHCP	Router (config-dhcp) #
PVC レンジ	Router (config-pvc-range) #
PVC インレンジ	Router (config-pvc-in-range) #
冗長構成	Router (config-r) #
冗長構成メイン CPU	Router (config-r-mc) #
SSG リダイレクト	Router (config-ssg-redirect) #
SSG リダイレクト ネットワーク	Router (config-ssg-redirect-network) #
SSG リダイレクト ポート	Router (config-ssg-redirect-port) #
SSG リダイレクト グループ	Router (config-ssg-redirect-group) #

コマンドの掲載箇所

表 2 に、このマニュアルの各項で説明するコマンドを示します。

表 2 コマンド サマリー

参照箇所	コマンド
アカウントingおよび認証コマンド (p.5)	aaa, access-profile
ATM Virtual Circuit (VC; 仮想回線) コマンド (p.6)	atm pxf queuing, create on-demand, dbs enable, debug atm autovc, idle-timeout, range, show atm pvc, show atm pvc dbs, show atm pvc vpi/vci, show atm vc, vc-class atm
基本的な CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンド (p.7)	clear facility-alarm, disable, enable, end, exit, facility-alarm, help, no, show, show facility-alarm status
基本的なファイル転送サービス コマンド (p.9)	async-bootp, rsh, tftp-server
基本的なシステム管理コマンド (p.9)	alias, buffers, calendar, clock, hostname, load-interval, ntp, prompt, scheduler
ブロードバンド アクセス: PPP およびルーテッドブリッジカプセル化コマンド (p.10)	bba-group pppoe, encapsulation aal5autopp virtual-template, pppoe enable
ブートコマンド (p.11)	boot, confreg, reload
Cisco IOS ソフトウェアのファイルシステム コマンド (p.11)	cd, copy, delete, dir, erase, file, format, mkdir, more, pwd, rename, rmdir, squeeze, undelete, verify
コンフィギュレーションファイル管理コマンド (p.12)	configure, service
接続、メニュー、およびシステムバナーのコマンド (p.12)	banner, lock, menu, name-connection, send
DHCP コマンド (p.13)	ip address-pool dhcp-pool, ip dhcp pool, origin, utilization mark low, utilization mark high
ダイヤルテクノロジー コマンド (p.13)	clear pppoe all, clear pppoe interface, clear pppoe rmac, controller, description, dialer, disconnect, l2tp tunnel retransmit initial retries, l2tp tunnel retransmit initial timeout, line, loadsharing, multilink, multilink-group, ppp, show pppoe session all, show pppoe session packets, tunnel, virtual-profile, vpdn enable, vpdn-group, vpdn session-limit, vpdn search-order
フレームリレー コマンド (p.15)	frame-relay, frame-relay interface-queue fair, frame-relay interface-queue priority, keepalive
インターフェイス コマンド (p.15)	aps, atm, autodetect, backup, bert, carrier-delay, compress, crc, delay, down-when-looped, dsu, duplex, encapsulation, framing, full-duplex, half-duplex, hold-queue, interface, interface virtual template, mtu, pos, pulse-time, scramble, serial, shutdown, speed, transmit-interface
IP アドレス指定コマンド (p.18)	arp
IP マルチキャスト ツール コマンド (p.18)	mrinfo, mstat, mtrace
IP ルーティング プロトコルに依存しないコマンド (p.18)	key, route-map
IP サービス コマンド (p.19)	ip mtu, ip pxf ignore, ip tcp path-mtu-discovery
ISO コネクションレス ネットワーク サービス コマンド (p.19)	clns, which-route
ロックおよび鍵のコマンド (p.19)	access-enable, access-template
パスワードおよび権限コマンド (p.22)	privilege, username

表2 コマンド サマリー (続き)

参照箇所	コマンド
Parallel Express Forwarding コマンド (p.20)	clear pxf interface、 clear pxf statistics、 show pxf、 show pxf cpu
Quality of Service (QoS; サービス品質) コマンド (p.23)	bgp-policy、 class、 class-map、 default、 match、 police、 policy-map、 queue-limit、 queue-list、 random-detect、 rate-limit、 service-policy、 set、 traffic-shape、 tx-ring-limit
RADIUS コマンド (p.24)	aaa group server radius、 radius-server retransmit、 radius-server timeout
冗長構成コマンド (p.24)	associate、 auto-sync、 failover、 main-cpu、 redundancy
ルータメモリ コマンド (p.24)	write
Service Selection Gateway (SSG) コマンド (p.25)	clear ssg、 debug ssg、 network、 network-list、 port、 port-list、 redirect、 server、 server-group、 show ssg、 show tcp-redirect mappings、 server、 server-group、 ssg
スイッチングサービス コマンド (p.29)	clear、 default、 ip vrf forwarding、 mls rp、 mpls、 show ip vrf、 tagswitch、 tag-switching
端末動作特性のコマンド (p.30)	default-value、 state-machine、 terminal、 terminal-queue、 where
端末サービス コマンド (p.30)	busy-message、 connect、 login、 login-string、 logout、 resume、 resume-string、 rlogin、 session-limit、 slip、 telnet
トラブルシューティングおよび障害管理のコマンド (p.31)	debug、 debug pppoe、 exception、 logging、 ping、 posd、 test、 traceroute、 tracerte、 undebug
SONETおよびT3コントローラ コンフィギュレーション コマンド (p.32)	(SONET) clock、 description、 help、 loopback、 path、 shutdown (T3) cablelength、 channelized、 clock、 description、 equipment、 framing、 help、 idle、 loopback、 mdl、 shutdown、 t1
その他のコマンド (p.33)	<1-99>、 access-list、 authen before-forward、 bandwidth、 card、 cdp、 chain-cache、 dialer-group、 dss、 hw-module、 idle-character、 initiate-to ip、 ip、 ipc、 isis、 iso-igrp、 kerberos、 loopback、 mac-address、 map-class、 map-list、 priority-list、 protocol pppoe、 rmon、 router、 rtr、 setup、 snmp、 snmp-server、 syscon、 systat、 tacacs-server、 tftpload、 timeout、 vpdn authorize domain、 vpdn multihop、 vpdn search-order、 vpn id、 vpn service

show コマンドの拡張

Cisco IOS ソフトウェアにおける show コマンドの拡張によって、下記が可能です。

- 大量の show コマンド出力を検索またはフィルタリングする
- 不要な show コマンド出力を除外する
- あとで参照できるように大量のデータ出力をファイルまたは URL に書き出す


show コマンドで使用できる拡張機能の一部を紹介します。詳細については、『[CLI String Search](#)』 Release 12.0T および『[Show Command Output Redirection](#)』 Release 12.0(21)S、12.2(13)T フィーチャ モジュールを参照してください。

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>show command begin string</code>	指定された <i>string</i> と一致する行からコマンド出力を表示します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command exclude string</code>	指定された <i>string</i> を含まないコマンド出力行を表示します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command include string</code>	指定された <i>string</i> を含むコマンド出力行を表示します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command append URL</code>	指定された URL のファイルにコマンド出力を転送して追加します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command redirect URL</code>	指定された URL にコマンド出力を転送します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command tee URL</code>	指定された URL にコマンド出力をコピーし、画面に出力を表示します。	イネーブル EXEC

アカウントिंगおよび認証コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>aaa</code>	Authentication, Authorization, Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントिंग) RADIUS または TACACS+ を使用する場合に課金またはセキュリティを目的としたアカウントिंग。 このコマンドではさまざまなパラメータを使用できます。詳細については、『 Cisco IOS Security Command Reference 』を参照してください。	グローバル
<code>access-profile</code>	ユーザ プロファイルをインターフェイスに適用します。 PPP セッション時にユーザ単位の認証属性をインターフェイスに適用します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC

ATM Virtual Circuit (VC; 仮想回線) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
atm pxf queuing	ポート上で Low VC Count モードをイネーブルにします。これがデフォルトのモードです。 このコマンドの no 形式を使用すると、各ポートで High VC Count モードがイネーブルになります。	インターフェイス
create on-demand	Permanent Virtual Circuit (PVC; 相手先固定接続) の自動プロビジョニングをイネーブルにします。	VC クラス
dbns enable	(VC クラス) Dynamic Bandwidth Selection (DBS) 機能をイネーブルにして、インターフェイスまたはサブインターフェイスに設定された VC クラスに DBS QoS パラメータを適用します。 (VC) DBS 機能をイネーブルにして、PVC に DBS QoS パラメータを適用します。	VC クラス VC
debug atm autovc {event error all}	オンデマンド VC イベントおよびエラーを表示します。 すべてのオンデマンド VC イベントを表示する場合は、 event オプションを使用します。 すべてのオンデマンド VC エラーを表示する場合は、 error オプションを使用します。 オンデマンド VC イベントとエラーの両方を表示する場合は、 all オプションを使用します。  (注) 大きい PVC レンジに debug atm autovc コマンドを使用すると、コンソール画面に大量のメッセージが表示されます。	イネーブル EXEC
idle-timeout [<i>time-out-in-seconds</i>] [<i>minimum-traffic-in-kbps</i>]	オンデマンド PVC でアイドルタイムアウト タイマーをイネーブルにします。 デフォルトの <i>time-out-in-seconds</i> は 0 (アイドル タイムアウトなし) です。 PPP over Ethernet (PPPoE) および PPP over ATM (PPPoA) セッションの場合、 <i>minimum-traffic-in-kbps</i> オプションが指定されていても、または VC がアイドル タイムアウト値に達するまでアイドル状態であっても、Cisco 10000 ルータはすべてのセッションのトラフィックが処理されるまで待ってから VC を切断します。	VC クラス
range [<i>range-name</i>] pvc <i>start-vpilstart-vci end-vpilend-vci</i>	PVC レンジを指定し、ATM レンジ コンフィギュレーション モードを開始します。	ATM レンジ
show atm pvc	インターフェイス、VPI/VCI、タイプ、カプセル化など、ATM PVC に関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
show atm pvc dbns	Dynamic Bandwidth Selection QoS パラメータが適用された ATM PVC に関する情報を表示します。	VC
show atm pvc vpilvci	VC 自動プロビジョニングがイネーブルかどうかを含め、特定の PVC に関する情報を表示します。	イネーブル EXEC

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>show atm vc</code>	Type フィールドの VC-A (VC-Automatic) でわかる、VC がオンデマンド VC であるかどうかを含め、ATM VC に関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>vc-class atm name</code>	VC クラスを作成し、VC クラス コンフィギュレーション モードを開始します。	グローバル

基本的な CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>clear facility-alarm</code>	要求されたアラーム レベルまたはアラーム ソースについて、外部アラーム リレーまたはデバイス メモリを消去します。アラーム レベルには <code>major</code> 、 <code>minor</code> 、および <code>critical</code> アラームがあります。 <code>clear facility-alarm</code> コマンドを使用すると、指定した外部アラーム表示がすべて消去されます。演算子を指定しなかった場合、すべての外部アラームが消去されます。条件は引き続き通知され、 <code>show facility-alarm status</code> コマンドで表示できます。アラーム ステータスを消去するには、このコマンドでアラーム ソースを指定することによって、発生源でアラーム条件を削除する必要があります。発生源を指定すると、指定したデバイスのメモリが消去され、その結果、アラームの発生源が削除されます。	イネーブル EXEC
<code>disable</code>	イネーブル コマンドをオフにします。 (イネーブル EXEC) <code>disable</code> を使用すると、イネーブル EXEC モードが終了し、ユーザ EXEC モードに戻ります。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
<code>enable</code>	(ユーザ/イネーブル EXEC) イネーブル コマンドをオンにします。 (グローバル) イネーブル パスワード パラメータを変更します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル
<code>end</code>	コンフィギュレーション モードを終了します。	グローバル
<code>exit</code>	(ユーザ EXEC) 既存のネットワーク接続を終了します。端末セッションを終了します。 (イネーブル EXEC) EXEC を終了します。 (グローバル) コンフィギュレーション モードを終了します。端末セッションを終了し、コンフィギュレーション モードを終了します。 (インターフェイス) インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
<code>facility-alarm</code>	マイナーおよびメジャー アラームのスレッシユホールド温度を明示的に入力します。	グローバル
<code>help</code>	対話式ヘルプシステムを記述します。	すべてのコマンド モード

■ 基本的な CLI (コマンド ライン インターフェイス) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
no	コマンドを取り消すか、またはデフォルトにリセットします。	イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
show	システム情報を表示します。 (ユーザ EXEC) キーワードは hardware 、 version 、および facility-alarm です。 (イネーブル EXEC) キーワードは class-map 、 ip vrf id 、 policy-map 、 controllers 、 environment 、 facility-alarm 、 hardware 、 ppp multilink 、 startup-config 、 running-config 、および version です。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
show facility-alarm status	現在のメジャー / マイナー アラームおよび Cisco 10000 ルータ上でユーザが設定できるすべてのアラームのスレッシュホールドを表示します。 このコマンドにキーワードまたは引数はありません。 show facility-alarm status コマンドを使用すると、温度に関する現在のメジャー / マイナー アラームおよびユーザが設定できるアラーム スレッシュホールドがすべて表示されます。Cisco 10000 ルータは、セントラル オフィス内の高度なビジュアル アラーム ディスプレイに物理的に接続できます。アラーム条件が (LED またはベルによって) 示されると、 show facility-alarm status コマンドを使用してそのアラームの原因を調べることができます。	グローバル

基本的なファイル転送サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
async-bootp	システムの bootp パラメータを変更します。 拡張 BOOTP 要求をサポートします。BOOTP 要求に対する応答として送信する情報を指定します。	グローバル
rsh	Remote Shell (RSH; リモート シェル) ホスト上でコマンドを実行します。	イネーブル EXEC
tftp-server	netload 要求に対応する TFTP サービスを提供します。	グローバル

基本的なシステム管理コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
alias	コマンド エイリアスを作成します。	グローバル
buffers	システム バッファ プール パラメータを調整します。 バッファ プールの設定値を調整し、テンポラリ バッファの作成限度および廃棄限度を調整します。	グローバル
calendar	ハードウェア カレンダを管理します。	イネーブル EXEC
clock	(イネーブル EXEC) システム クロックを管理します。Cisco 10000 シリーズ ルータのシャーシに日時を設定します。 (グローバル) 時刻クロックを設定します。 (インターフェイス) インターフェイスのクロック ソースを設定します。	イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
hostname	システム ネットワーク名を設定します。 Cisco 10000 シリーズ ルータのホスト名を指定します。	グローバル
load-interval	インターフェイスの負荷を計算する間隔を指定します。 負荷統計情報の計算に使用するデータの蓄積期間を変更します。	インターフェイス
ntp	Network Time Protocol (NTP) を設定します。	グローバル インターフェイス
prompt	システム プロンプトを設定します。 システム プロンプトをカスタマイズします。	グローバル
scheduler	スケジューラ パラメータ。 CPU プロセス ハンドリングのタイミングを設定します。	グローバル

ブロードバンド アクセス : PPP およびルーテッドブリッジカプセル化コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
bba-group pppoe { <i>group-name</i> global }	<p>PPPoE の Broadband Aggregation (BBA) グループを設定します。</p> <p>このコマンドを使用すると、グローバル BBA グループまたは <i>group-name</i> で指定された特定の BBA グループを設定できます。グローバル BBA グループは、ポート レベルでグループが設定されていないポート上のセッションに使用される、特殊なグループです。</p> <p>BBA グループを設定するには、BBA グループ コンフィギュレーション モードで次のコマンドを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • virtual-template <i>vtemplate-num</i> グループ用の仮想テンプレート を定義します。 • pppoe limit max-sessions <i>number</i> (グローバル グループに限って使用可能) すべてのインターフェイスからこのルータで終端させることのできる、PPPoE セッションの最大数を指定します。 • pppoe limit per-mac <i>per-mac-limit</i> グループを使用する各 PPPoE ポートの MAC (メディア アクセス制御) アドレスあたりの最大セッション数を指定します。 • pppoe limit per-vlan <i>per-vlan-limit</i> グループを使用する各 VLAN (仮想 LAN) の最大 PPPoE セッション数を指定します。 • pppoe limit per-vc <i>per-vc-limit</i> グループを使用する各 VC の最大 PPPoE セッション数を指定します。 <p>Permanent Virtual Circuit (PVC; 相手先固定接続) に BBA グループを結合するには、インターフェイスまたはサブインターフェイス コンフィギュレーション モードで protocol pppoe group コマンドを使用します。</p>	グローバル
encapsulation aal5autopp virtual-template <i>vtemplate-number</i> [group <i>pppoe-group-name</i>]	<p><i>pppoe-group-name</i> で指定された PPP over Ethernet (PPPoE) グループで定義されている PPPoE コンフィギュレーションを着信 PPPoE セッションに使用させることを指定します。</p> <p>PPPoE グループを指定しなかった場合、PPPoE セッションはグローバル PPPoE グループで定義されているコンフィギュレーションを使用します。</p>	VC VC クラス PVC レンジ PVC インレンジ
pppoe enable [group <i>pppoe-group-name</i>]	<p><i>pppoe-group-name</i> で指定された PPPoE グループで定義されている PPPoE コンフィギュレーションをインターフェイス上の PPPoE セッションに使用させることを指定します。</p> <p>PPPoE グループを指定しなかった場合、PPPoE セッションはグローバル PPPoE グループで定義されているコンフィギュレーションを使用します。</p>	インターフェイス

ブート コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
boot	システム ブート パラメータを変更します。	グローバル
confreg	コンフィギュレーション レジスタを定義します。 システム起動時の動作を定義します。	ROM モニタ
reload	システムを停止して、コールドリスタートを実行します。 オペレーティングシステムを再ロードします。	イネーブル EXEC

Cisco IOS ソフトウェアのファイルシステム コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
cd	現在のディレクトリを変更し、別のディレクトリに移動します。	イネーブル EXEC
copy	あるファイルから別のファイルにコピーします。	イネーブル EXEC
delete	フラッシュ メモリ デバイス上のファイルを削除します。	イネーブル EXEC
dir	ファイルシステム上のファイルの一覧を表示します。	イネーブル EXEC
erase	ファイルシステムを消去します。	イネーブル EXEC
file	ファイルシステム パラメータを調整します。	グローバル
format	ファイルシステムをフォーマットします。 フラッシュ ディスクまたはフラッシュ カードをフォーマットします。	イネーブル EXEC
mkdir	フラッシュ ディスク上で新しいディレクトリを作成します。	イネーブル EXEC
more	ファイルの内容を表示します。	イネーブル EXEC
pwd	現在の作業ディレクトリを表示します。 cd コマンドの現在の設定を表示します。	イネーブル EXEC
rename	クラス C フラッシュ ファイル システム内のファイル名を変更します。	イネーブル EXEC
rmdir	既存のディレクトリを削除します。 rsh ホスト上でコマンドをリモート実行します。	イネーブル EXEC
squeeze	ファイルシステムをスクイーズします。 フラッシュ カードからファイルを永久に削除します。	イネーブル EXEC
undelete	削除したファイルを元に戻します。 フラッシュ カードの削除マークの付いたファイルを回復します。	イネーブル EXEC
verify	フラッシュ メモリ ファイルのチェックサムを確認します。	イネーブル EXEC

コンフィギュレーション ファイル管理コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
configure	コンフィギュレーション モードを開始します。 端末およびメモリ コンフィギュレーション モードを開始します。	イネーブル EXEC
service	ネットワークベース サービスの使用を変更します。	グローバル

接続、メニュー、およびシステム バナーのコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
banner	ログイン バナーを定義します。 対話型 EXEC で端末にバナーを表示します。	グローバル
lock	端末をロックします。 回線に一時的なパスワードを設定します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
menu	ユーザ インターフェイス メニューを定義します。 ユーザ インターフェイス メニュー用の基本コマンドを指定します。	グローバル
name-connection	既存のネットワーク接続に名前を設定します。 接続に論理名を割り当てます。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
send	他の TTY 回線にメッセージを送信します。 1 つまたはすべての端末回線にメッセージを送信します。	イネーブル EXEC

DHCP コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
ip address-pool dhcp-pool	MPLS (マルチプロトコル ラベル スイッチング) VPN (仮想私設網) との PPP リモート アクセス セッションに対応するグローバルなデフォルトの IP アドレス メカニズムとして、オンデマンド型アドレス プールを使用できるようにします。ローカルで設定された VRF に対応する DHCP プールが IP アドレスを割り当てます。	グローバル
ip dhcp pool name	Cisco IOS DHCP サーバ上で Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) アドレス プールを設定します。	DHCP プール
origin {dhcp aaa ipcp} [subnet size initial size] [autogrow size]]	オンデマンド型アドレス プールとしてアドレス プールを設定します。	DHCP
utilization mark low percentage-number	プール サイズの使用率マークの下限を設定します。デフォルト値は 0 パーセントです。	DHCP
utilization mark high percentage-number	プール サイズの使用率マークの上限を設定します。デフォルト値は 100 パーセントです。	DHCP

ダイヤル テクノロジー コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
clear pppoe all	すべての PPP over Ethernet (PPPoE) セッションを削除します。	イネーブル EXEC
clear pppoe interface	物理インターフェイスまたはサブインターフェイス上のすべての PPPoE セッションを削除します。	イネーブル EXEC
clear pppoe rmac	クライアント ホストの MAC (メディア アクセス制御) アドレスからの PPPoE セッションを削除します。	イネーブル EXEC
controller	特定のコントローラを設定します。 コントローラ タイプを設定し、コントローラ コンフィギュレーション モードを開始します。	グローバル
description	インターフェイス固有の記述。 インターフェイス コンフィギュレーションにコメントを追加します。	インターフェイス
dialer	Dial-on-Demand Routing (DDR; ダイヤル オンデマンド ルーティング) コマンド。	インターフェイス
disconnect	既存のネットワーク接続を終了します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
l2tp tunnel retransmit initial retries number	LAC (L2TP アクセス コンセントレータ) が諦めるまでに L2TP トンネル設定要求を再送信する回数を指定します。	VPDN グループ
l2tp tunnel retransmit initial timeout {min number max number}	LAC がサーバ ホストの応答を待機する時間を設定します。	VPDN グループ
line	端末回線を設定します。	グローバル

■ ダイアルテクノロジー コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
loadsharing ip <i>ip-address</i> [limit session-limit]	ロードシェアリングのエンドポイントを設定します。 <i>ip-address</i> は、トンネルの反対側にある HGW または LNS の IP アドレスです。 (任意) limit session-limit を指定すると、負荷分散に基づいてセッションが制限されます。セッション数の限度は 0 ~ 32,767 の範囲です。デフォルトでは無制限になります。	VPDN グループ
multilink	PPP マルチリンク グローバル コンフィギュレーション。	グローバル
multilink-group	マルチリンク バンドルにインターフェイスを含めます。	インターフェイス
ppp	(ユーザ EXEC) IETF PPP (ポイントツーポイント プロトコル) を起動します。 (イネーブル EXEC) PPP を使用して非同期接続を開始します。 (インターフェイス) PPP を起動します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC インターフェイス
show pppoe session all	各セッション ID の PPPoE セッション情報を表示します。	イネーブル EXEC
show pppoe session packets	PPPoE セッション統計情報を表示します。	イネーブル EXEC
tunnel	トンネル接続を開始します。 ルータとのネットワーク レイヤ接続を確立します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
virtual-profile	仮想プロファイルの設定。 AAA の設定によって仮想プロファイルをイネーブルにします。	グローバル
vpdn enable	ルータ上で Virtual Private Dialup Networking (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網) をイネーブルにして、ローカルデータベースと存在する場合にはリモート許可サーバ(ホーム ゲートウェイ) でトンネル定義を検索するようにルータに指示します。	グローバル
vpdn-group <i>name</i>	Virtual Private Dialup Network(VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網) グループをカスタム プロファイルまたは VPDN プロファイルに対応づけます。	VPDN
vpdn search-order <i>domain</i>	サービス プロバイダ ネットワーク アクセス サーバがドメイン名について、Virtual Private Dialup Network (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網) トンネルの許可を検索することを指定します。	グローバル
vpdn session-limit <i>sessions</i>	ルータ上で同時に確立できる VPN セッションの数を制限します。	グローバル

フレームリレー コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>frame-relay</code>	フレームリレー コマンドを開始します。	グローバル
<code>frame-relay interface-queue fair</code>	このコマンドは廃止されたので、使用できません。 <code>frame-relay interface-queue priority</code> コマンドを参照してください。	マップ クラス
<code>frame-relay interface-queue priority {high medium normal low}</code>	フレームリレー マップ クラス内の Permanent Virtual Circuit (PVC; 相手先固定接続) にプライオリティを割り当てます。	マップ クラス
<code>keepalive</code>	キーブアライブをイネーブルにします。 特定のインターフェイスにキーブアライブ タイマーを設定します。	インターフェイス

インターフェイス コマンド



(注) Cisco 10000 ルータのインターフェイスは、デフォルトで **no shutdown** に設定されます。

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>aps</code>	Automatic Protection Switching (APS; 自動保護スイッチ) パラメータを変更します。	イネーブル EXEC インターフェイス
<code>atm</code>	Asynchronous Transfer Mode (ATM; 非同期転送モード) インターフェイスを設定します。 Cisco IOS ソフトウェアには、ATM インターフェイスを設定するための ATM コマンドが多数備わっています。詳細については、 『Cisco IOS Wide-Area Networking Command Reference』Release 12.2 を参照してください。	インターフェイス
<code>autodetect</code>	シリアル インターフェイスのカプセル化を自動検出します。	グローバル
<code>backup</code>	バックアップ パラメータを変更します。	サポートされない
<code>bert</code>	BERT コマンドを指定します。	インターフェイス
<code>carrier-delay</code>	インターフェイス移行の遅延を指定します。	インターフェイス
<code>compress</code>	シリアル インターフェイスの圧縮を設定します。	インターフェイス
<code>crc</code>	CRC (巡回冗長検査) のワード サイズを指定します。	インターフェイス
<code>delay</code>	インターフェイス スループット遅延を指定します。	インターフェイス
<code>down-when-looped</code>	ループしているシリアル インターフェイスを強制的に停止します。	インターフェイス
<code>dsu</code>	DSU (データ サービス ユニット) プロパティを設定します。	インターフェイス

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
duplex { half full auto }	<p>デュプレックス動作モードを設定します (PRE、製品番号 ESR-PRE2 が必要)。</p> <p>デフォルトのデュプレックス モードは全二重で、この場合、コンフィギュレーション ファイルには含まれません。 no duplex コマンドを実行すると、システムはデフォルトのデュプレックス モードに戻ります。</p> <p>speed、half-duplex、および full-duplex コマンドも参照してください。</p>	インターフェイス
encapsulation	インターフェイスのカプセル化タイプを設定します。	インターフェイス
framing	DS3 のフレーミング タイプを指定します。	インターフェイス
full-duplex	全二重または半二重の動作モードを設定します。	インターフェイス
half-duplex	<p>Performance Routing Engine (PRE) のファスト イーサネット Network Management Ethernet (NME) ポートは、システム デフォルトの自動ネゴシエーション モードとして設定する必要があります。デュプレックス モードによって自動ネゴシエーション モードがディセーブルになるので、フラップなどの問題が起きる可能性があります。ポートでこのような問題が発生し、そのポートがデュプレックス モードとして設定されている場合は、no full-duplex または no half-duplex コマンドを使用してデュプレックス モードをディセーブルにしてください。</p> <p>ルータに製品番号 ESR-PRE1 の PRE が搭載されている場合、ルータのコンフィギュレーション ファイルに含まれるのは full-duplex コマンドだけです。ESR-PRE1 を製品番号 ESR-PRE2 の PRE に交換すると、システムによって full-duplex コマンドは廃棄されますが、デュプレックス モードは引き続き全二重に設定されます。ESR-PRE2 のデフォルトの設定だからです (ESR-PRE2 が搭載されている場合、コンフィギュレーション ファイルにデフォルトの設定値は含まれません)。</p> <p>ESR-PRE1 では、コンフィギュレーション ファイルにデュプレックス モードが指定されていない場合、半二重が指定されたものとみなされます。このコンフィギュレーション ファイルを ESR-PRE2 に移行させ、引き続き半二重を使用する場合は、duplex コマンドを使用してデュプレックス モードを明示的に設定する必要があります。</p>	インターフェイス
hold-queue	ホールド キューの深さを設定します。	インターフェイス
interface	設定するインターフェイスを選択し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。	グローバル
interface virtual template	<p>仮想アクセス インターフェイスの作成時に設定して動的に適用できる、仮想テンプレート インターフェイスを作成します。</p> <p>仮想テンプレート インターフェイスは、Virtual Profile、Virtual Private Dialup Networks (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網)、PPP over ATM、プロトコル変換、Multichassis Multilink PPP (MMP) など、さまざまなアプリケーションで作成して適用することができます。</p>	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
mtu	インターフェイスの Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) を設定します。	インターフェイス
pos	POS パラメータを変更します。	インターフェイス
pulse-time	リセット時に DTR のパルス をイネーブル にします。	インターフェイス
scramble	ペイロード スクラブル をイネーブル にします。	インターフェイス
serial	シリアル インターフェイス コマンド。	インターフェイス
shutdown	選択された インターフェイス をシャットダウン します。	インターフェイス
speed {10 100 auto}	ファスト イーサネット Network Management Ethernet (NME) ポートの速度を設定します (PRE、製品番号 ESR-PRE2 が必要)。 デフォルトの速度は 100 Mbps で、この場合、コンフィギュレーション ファイルには含まれません。no speed コマンドを実行すると、システムはデフォルトの速度に戻ります。 depulex、half-duplex、および full-duplex コマンドも参照してください。	インターフェイス
transmit-interface	受信専用インターフェイスに送信インターフェイスを割り当てます。	インターフェイス

IP アドレス指定コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
arp	<p>スタティック Address Resolution Protocol (ARP) エントリを設定します。MAC アドレスを IP アドレスに対応づけます。</p> <p>ARP タイプ(arpa、probe、snap)またはタイムアウトを設定します。</p>	<p>グローバル</p> <p>インターフェイス</p>

IP マルチキャスト ツール コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
mrinfo	<p>マルチキャスト ルータにネイバおよびバージョン情報を要求します。</p> <p>ローカル ルータのピアになっている近接マルチキャスト ルータを識別します。</p>	<p>ユーザ EXEC</p> <p>イネーブル EXEC</p>
mstat	<p>複数のマルチキャスト トレースルート実行後の統計情報を表示します。</p> <p>IPマルチキャストパケットレートおよび損失情報を表示します。</p>	<p>ユーザ EXEC</p> <p>イネーブル EXEC</p>
mtrace	<p>宛先から送信元へ逆方向のマルチキャスト パスを追跡します。</p> <p>マルチキャスト配信ツリーに従って、送信元から宛先分岐へのパスを追跡します。</p>	<p>ユーザ EXEC</p> <p>イネーブル EXEC</p>

IP ルーティング プロトコルに依存しないコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
key	鍵の管理。	グローバル
route-map	<p>ルート マップを作成するか、またはルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。</p> <p>あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再分配する条件を定義します。またはポリシー ルーティングをイネーブルにします。ルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。</p>	グローバル

IP サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
ip mtu <i>bytes</i>	インターフェイス上で送信される IP パケットの Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) を設定します。 このコマンドの no 形式を使用すると、デフォルトの MTU サイズに戻ります。	インターフェイス
ip pxf ignore l2tp df-bit	DF ビットの設定を無視してパケットが分割されるようにルータを設定します。	グローバル
ip tcp path-mtu-discovery [<i>age-timer</i> { <i>minutes</i> infinite }]	ルータからの新しい TCP 接続のすべてで、Path MTU Discovery 機能を使用できるようにします。	グローバル

ISO コネクションレス ネットワーク サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
clns	(グローバル) グローバル CLNS コンフィギュレーション サブコマンド。 (インターフェイス) CLNS インターフェイス サブコマンド。	グローバル インターフェイス
which-route	Open System Interconnection(OSI; 開放型システム間相互接続) ルート テーブル検索を実行し、結果を表示します。 指定の CLNS 宛先が見つかったルーティング テーブルを表示します。	イネーブル EXEC

ロックおよび鍵のコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
access-enable	Cisco 10000 ルータへのアクセスを制限する、一時的なアクセス リスト エントリを作成します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
access-template	一時的なアクセス リスト エントリを作成します。 一時的なアクセス リスト エントリをカスタマイズします。	イネーブル EXEC

Parallel Express Forwarding コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>clear pxf interface [interface rp]</code>	指定されたインターフェイスまたは Route Processor (RP; ルートプロセッサ) の PXF カウンタを消去します。インターフェイスを指定しなかった場合、すべてのインターフェイスの PXF カウンタが消去されます。	イネーブル EXEC
<code>clear pxf statistics {ip drop diversion}}</code>	指定された PXF 統計情報を消去します。 ip 引数を指定すると、IP および Internet Control Message Protocol (ICMP) 統計情報が表示されます。 drop 引数を指定すると、廃棄されたパケットおよびバイト数が表示されます。 diversion 引数を指定すると、PXF を迂回したトラフィックが表示されます。	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu access-lists [security QoS]</code>	Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) のメモリ情報を 3 つのセクションに分けて表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 最初のセクションには、各 ACL が使用している ACL 固有のメモリが表示されます。 2 番目のセクションには、すべての ACL が同時に使用する ACL 共通メモリが表示されます。 3 番目のセクションには、指定したタイプの ACL (security または QoS) が PXF メモリ全体のうちのどれだけ使用しているかが表示されます。 	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu buffers</code>	PXF エンジンが使用できる各サイズの出力バッファ数を表示します。 トラフィックがルータを通過していて、一部のパケットが使用中の場合、メモリ リークが発生しています。割り当てエラーが生じている場合、ルータでそのサイズのパケットが暴走しています。	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu cef ip-prefix [mask]</code>	PXF メモリに保管されている現在の Cisco Express Forwarding (CEF) テーブルを表示します。 <i>ip-prefix</i> 引数は、シャドウ MTRIE 構造の検索対象となる IP アドレスプレフィクスです。 <i>mask</i> 引数は、任意のサブネットマスクです。	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu cef memory</code>	現在の Cisco Express Forwarding (CEF) テーブルの PXF メモリ使用率を表示します。	イネーブル EXEC

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>show pxf cpu context</code>	<p>PXF エンジンの現在の負荷および負荷の履歴を表示します。最初のセクションには、前回の再ロード以来、PXF エンジンに送られた各タイプのコンテキスト数が表示されます。</p> <p><i>feed_back</i> コンテキストは、PXF エンジン を複数回通過しなければならない機能（マルチキャスト、出力 ACL など）が原因で、PXF エンジンに再び入ったパケット数を表します。</p> <p><i>new_work</i> コンテキストは、PXF エンジンがルート プロセッサおよびあらゆるライン カードから受け付けたパケット数を表します。</p> <p><i>null</i> コンテキストは、未使用のパケット帯域を表します。</p>	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu mroute</code>	<p>PXF メモリに保管されている現在のマルチキャスト ルーティング テーブルを表示します。</p>	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu queue interface</code>	<p>特定のインターフェイスについて、出力キューの統計情報を表示します。インターフェイスを指定しなかった場合は、ルート プロセッサのキュー統計情報が表示されます。</p> <p>各インターフェイスに2つずつキューがあります。ロー プライオリティ キューおよびハイ プライオリティ キューです。</p> <p><i>wq_len</i> は、インターフェイスの出力キューの現在の深さです。</p> <p><i>wq_limit_drop</i> は、出力キューが満杯で廃棄されたパケットの数です。</p> <p><i>packet xmit</i> は、出力されたパケット数です。</p> <p><i>byte xmit</i> は、出力されたバイト数です。</p>	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu schedule</code>	<p>各インターフェイスが PXF エンジンからパケットを受信するレートを表示します。</p>	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu statistics [drop diversion ip]</code>	<p>エンジンが最後にロードされて以後の PXF エンジンの統計情報を表示します。drop、diversion、および ip パラメータは任意です。パラメータを指定しなかった場合は、すべてのパラメータについて情報が表示されます。</p> <p>drop を指定すると、示された理由で PXF エンジンが廃棄したパケットの数が表示されます。</p> <p>diversion を指定すると、示された理由（1 つまたは複数）で PXF エンジンがルーティング プロセッサに送信したパケットの数が表示されます。</p> <p>ip を指定すると、PXF エンジンがパケットに対して実行した IP アクティビティの数が表示されます。ip パラメータを使用した場合に表示される情報の一部は、diversion オプションでも表示されます。</p>	イネーブル EXEC
<code>show pxf cpu subblocks interface</code>	<p>インターフェイスのステータスおよび PXF 関連パラメータを表示します。</p>	イネーブル EXEC
<code>show pxf interface [interface rp] [detail]</code>	<p>特定のインターフェイスまたは Route Processor（RP; ルート プロセッサ）の PXF カウンタを表示します。インターフェイスを指定しなかった場合、すべてのインターフェイスの PXF カウンタが表示されます。</p>	イネーブル EXEC

■ パスワードおよび権限コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
show pxf microcode	PXF エンジン上で稼働しているマイクロコードのバージョンおよびその稼働時間を表示します。	イネーブル EXEC
show pxf statistics {ip diversion drop [detail]}	指定された PXF 統計情報を表示します。 ip 引数を指定すると、IP および ICMP 統計情報が表示されます。 drop 引数を指定すると、廃棄されたパケットおよびバイト数が表示されます。 diversion 引数を指定すると、PXF を迂回したトラフィックが表示されます。	イネーブル EXEC

パスワードおよび権限コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
privilege	コマンド権限のパラメータ。 コンフィギュレーション コマンドにアクセスするために必要な権限レベルを調整します。	グローバル
username	ユーザ名の認証を設定します。 コンフィギュレーション ファイルで表示するユーザ名を指定します。	グローバル

Quality of Service (QoS; サービス品質) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
bgp-policy	bgp コミュニティ スtringによって伝達されたポリシーを適用します。 インターフェイス上で QoS Policy Propagation on BGP (QPPB; BGP による QoS ポリシー伝達) をイネーブルにします。	インターフェイス
class	ポリシーを作成または変更するクラスの名前を指定します。または、ポリシーを設定する前にデフォルトのクラス (一般に class-default クラス) を指定します。	QoS ポリシー マップ
class-map	QoS class-map コマンド。 config-cmap コンフィギュレーション モードを開始します。	グローバル
match class-map	分類ポリシーとしてトラフィック クラスを使用します。	QoS クラス マップ
police	指定された属性についてパケットを検証します。	QoS ポリシー マップ クラス
policy-map	QoS ポリシー マップを設定します。 config-pmap モードを開始します。このモードから config-pmap-c モードを開始できます。	グローバル
queue-limit	ポリシー マップで設定されたクラス ポリシーについて、キューが保持できるパケットの最大数を指定または変更します。	QoS ポリシー マップ クラス
queue-list	カスタム キュー リストを作成します。 インターフェイスにプライオリティ キューイングを指定します。	グローバル
random-detect	クラスに Weighted Random Early Detection (WRED; 重み付きランダム早期検出) を割り当てます。	インターフェイス QoS ポリシー マップ クラス
rate-limit	レート制限。 Committed Access Rate (CAR; 専用アクセス レート) および Distributed CAR (DCAR; 分散 CAR) ポリシーを設定します。	インターフェイス
service-policy	QoS サービス ポリシーを設定します。	インターフェイス
set qos-group	あとでパケットを分類するために使用可能なグループ ID を設定します。	QoS ポリシー マップ
traffic-shape	インターフェイスまたはサブインターフェイス上でトラフィックシェーピングをイネーブルにします。 フレームリレート ラフィックシェーピング オプション。	インターフェイス
tx-ring-limit	PA レベルの送信リング制限を設定します。	インターフェイス

RADIUS コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
aaa group server radius <i>group-name</i>	複数の異なる RADIUS サーバ ホストをグループとして、特定のリストおよび特定の方式にまとめます。	グローバル
radius-server retransmit <i>retries</i>	Cisco IOS ソフトウェアが諦めるまでに、RADIUS サーバ ホストのリストを検索する回数を指定します。	グローバル
radius-server timeout <i>seconds</i>	ルータがサーバ ホストの応答を待機する時間を設定します。	グローバル

冗長構成コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
associate	冗長スロットを対応づけます。	冗長構成 コンフィギュレーション サブモード
auto-sync	要素を同期させます。 スタートアップおよびその他のファイルを同期させます。	冗長構成メイン CPU コンフィギュレーション サブモード
failover	フェールオーバーを設定します。	冗長構成メイン CPU コンフィギュレーション サブモード
main-cpu	メイン CPU モードを開始します。	冗長構成 コンフィギュレーション サブモード
redundancy	(イネーブル EXEC)強制的にセカンダリ カードに切り替えます。 (グローバル) 冗長構成モード (config-r) を開始します。そこから冗長構成メイン CPU (config-r-mc) モードを開始します。	イネーブル EXEC グローバル

ルータ メモリ コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
write	Open System Interconnection(OSI; 開放型システム間相互接続)ルータ テーブル検索を実行し、結果を表示します。	イネーブル EXEC

Service Selection Gateway (SSG) コマンド



コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
clear ssg host <i>ip-address interface</i>	所定のホストまたは加入者を削除、またはディセーブルにします。	イネーブル EXEC
clear ssg next-hop	ネクスト ホップ テーブルを削除します。	イネーブル EXEC
clear ssg pending-command	すべての pending コマンドを削除します。	イネーブル EXEC
clear ssg service	サービスを削除します。	イネーブル EXEC
debug ssg ctrl-errors	コントロール モジュールのすべてのエラー メッセージを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg ctrl-events	コントロール モジュールのすべてのイベント メッセージを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg ctrl-packets	コントロール モジュールが処理するパケットの内容を表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg data	すべてのデータパス パケットを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg errors	システム モジュールのすべてのエラー メッセージを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg events	システム モジュールのイベント メッセージを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg packets	システム モジュールが処理するパケットの内容を表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg tcp-redirect {packet error event}	SSG Transmission Control Protocol (TCP) リダイレクト機能のデバッグ情報をオンにし、次の種類の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> パケットのリダイレクト期間が満了する場合、パケットに対して加えられるリダイレクション情報および変更 SSG の TCP リダイレクト エラー 主な SSG の TCP リダイレクト イベントまたはステート変更 	イネーブル EXEC
network <i>ip-address</i>	IP アドレスを名前付きネットワーク リストに追加します。	SSG リダイレクト ネットワーク
network-list <i>network-listname</i>	名前付きネットワーク リストを構成する、1 つまたは複数の IP ネットワーク リストを定義します。SSG リダイレクト ネットワーク コンフィギュレーション モードを開始します。	SSG リダイレクト
port <i>port-number</i>	TCP ポートを名前付きポート リストに追加します。	SSG リダイレクト ポート
port-list <i>port-listname</i>	名前付きポート リストを構成する、1 つまたは複数の TCP ポートのリストを定義し、SSG リダイレクト ポート コンフィギュレーション モードを開始します。	SSG リダイレクト
redirect captive initial default group <i>group-name duration seconds</i>	デフォルトのキャプティブ ポータル グループ、およびユーザがログインしたあと、最初のキャプティブ ポータブル グループが割り当てられる期間を選択します。	SSG リダイレクト
redirect {port-list port-listname port port-number} to group-name	SSG TCP リダイレクトの TCP ポートまたは名前付き SSG TCP ポート リストを、サービスに対して設定します。	SSG リダイレクト
redirect unauthenticated-user to group-name	認証されていないユーザからの TCP トラフィックを名前付きキャプティブ ポータル グループにリダイレクトします。	SSG リダイレクト
redirect unauthorized-service [destination network-list network-listname] to group-name	指定された、名前付きキャプティブ ポータル グループによってリダイレクト可能な宛先 IP ネットワークのリストを設定します。	SSG リダイレクト

■ Service Selection Gateway (SSG) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<code>server ip-address port</code>	サーバをキャプティブ ポータルグループに追加します。	SSG リダイレクトグループ
<code>server-group group-name</code>	名前付きキャプティブ ポータルリストを構成する、1 つまたは複数のサーバのグループを定義し、SSG リダイレクトグループ コンフィギュレーション モードを開始します。	SSG リダイレクト
<code>show ssg binding [begin expression exclude expression include expression]</code>	インターフェイスにバインドされているサービス名およびサービス名にバインドされている IP アドレスを表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg connection ip-address service-name [interface]</code>	ホストおよびサービス名の接続を表示します。 SSG は、サービスに対して出力統計情報としてホストから送信されたバイト数をレポートします。入力の接続統計情報は、サービスからホストに送信されるバイト数およびパケット数です。SSG は、サービスに対して正常に送信されたパケットだけをカウントし、ホストから受信してもその後にドロップしたパケットについてはレポートしません。	イネーブル EXEC
<code>show ssg direction [begin expression exclude expression include expression]</code>	方向が指定されているすべてのインターフェイスの方向を示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg host [ip-address [interface] username]</code>	加入者および加入者の現行の接続に関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg next-hop [begin expression exclude expression include expression]</code>	ネクスト ホップ テーブルを表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg pending-command</code>	next-hopまたはfiltersなどの現行のpendingコマンドを表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg service [service-name [begin expression exclude expression include expression]]</code>	サービスの情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg tcp-redirect group [group-name]</code>	キャプティブ ポータル グループおよびこれらのグループに対応付けられたネットワークに関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg vc-service-map [vpilvci service service-name]</code>	Virtual Circuit (VC; 仮想回線) とサービス名のマッピングを表示します。	イネーブル EXEC
<code>show tcp-redirect mappings [ip-address [interface]]</code>	システム内にあるホストの TCP リダイレクト マッピングに関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>ssg accounting</code>	SSG アカウンティングをイネーブルにします。	グローバル
<code>ssg accounting interval seconds</code>	アカウンティングの更新がアカウンティング サーバに送られる間隔を指定します。 範囲は 60 ~ 2,147,483,647 秒で、60 秒単位で指定します。入力値は、その次の 60 の倍数に切り上げられます。デフォルトは 600 です。	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
ssg bind direction { downlink uplink } { ATM <i>atm-interface</i> Async <i>async-interface</i> BVI <i>bvi-interface</i> Dialer <i>dialer-interface</i> Ethernet <i>ethernet-interface</i> FastEthernet <i>fastethernet-interface</i> Group-Async <i>group-async-interface</i> Lex <i>lex-interface</i> Loopback <i>loopback-interface</i> Multilink <i>multilink-interface</i> Null <i>null-interface</i> Port-channel <i>port-channel-interface</i> Tunnel <i>tunnel-interface</i> Virtual-Access <i>virtual-access-interface</i> Virtual-Template <i>virtual-template-interface</i> Virtual-TokenRing <i>virtual-tokenring-interface</i> }	<p>インターフェイスをダウンリンクまたはアップリンク インターフェイスとして指定します。</p> <p>デフォルトでは、すべてのインターフェイスはアップリンク インターフェイスとして設定されています。</p>	グローバル
ssg bind service <i>service-name</i> { <i>ip-address</i> ATM <i>atm-interface</i> Async <i>async-interface</i> BVI <i>bvi-interface</i> Dialer <i>dialer-interface</i> Ethernet <i>ethernet-interface</i> FastEthernet <i>fastethernet-interface</i> Group-Async <i>group-async-interface</i> Lex <i>lex-interface</i> Loopback <i>loopback-interface</i> Multilink <i>multilink-interface</i> Null <i>null-interface</i> Port-channel <i>port-channel-interface</i> Tunnel <i>tunnel-interface</i> Virtual-Access <i>virtual-access-interface</i> Virtual-Template <i>virtual-template-interface</i> Virtual-TokenRing <i>virtual-tokenring-interface</i> }	<p>サービスのインターフェイスを指定し、サービスをインターフェイスにバインドします。</p>	グローバル
ssg default-network <i>ip-address mask</i>	<p>デフォルトのネットワーク IP アドレスまたはサブネットおよびマスクを指定します。</p>	グローバル
ssg enable	<p>SSG をイネーブルにします。</p>	グローバル
ssg maxservice <i>number</i>	<p>ユーザ 1 人あたりの最大サービス数を設定します。</p> <p>ユーザ 1 人あたりのデフォルトの最大サービス数は 20 です。</p>	グローバル

Service Selection Gateway (SSG) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
ssg next-hop download [<i>profile-name</i>][<i>profile-password</i>]	ネクスト ホップ テーブルを RADIUS サーバからダウンロードします。 プロファイル名およびパスワードを指定していない場合、このコマンドを使って指定した直前のプロファイルがダウンロードされます。以前にプロファイルを指定しなかった場合は、エラーメッセージが生成されます。	グローバル
ssg profile-cache	非 PPP ユーザのユーザ プロファイルのキャッシングをイネーブルにします。	グローバル
ssg qos police session	特定の加入者に対し、サービス間で帯域幅を適切に分配するために、セッションあたりのポリシングをイネーブルにします。	グローバル
ssg radius-helper [<i>acct-port port-number</i> auth-port port-number key key]	Subscriber Edge Services Manager (SESM) との通信をイネーブルにして、パケット受信用のポート番号および秘密鍵を指定します。	グローバル
ssg service-cache <i>refresh-interval</i>	サービスがリフレッシュされる間隔を設定します。 <i>refresh-interval</i> は、ルータがサービスをリフレッシュするまでの、ルータの待機時間 (分単位で表示) です。有効値は 10 ~ 34,560 分 (10 分 ~ 24 日) です。デフォルト値は 120 分です。  (注) サービス プロファイルをローカルまたは RADIUS サーバで更新しても、SSG 上のサービスは自動的に更新されません。ルータは、ユーザが設定した <i>refresh-interval</i> (通常は 120 分) で定期的にサービス プロファイルからサービスをリフレッシュします。	グローバル
ssg service-cache refresh { <i>all</i> <i>servicename</i> }	SSG に強制的にサービス プロファイルを更新させます。QoS のすべての変更が接続に適用されます。  (注) 接続レベルのポリシングの場合、 ssg qos police session をイネーブルにする必要があります。	グローバル
ssg service-password <i>password</i>	サービス プロファイルのダウンロード用パスワードを指定します。	グローバル
ssg service-search-order { <i>local</i> <i>remote</i> <i>local remote</i> <i>remote local</i> }	サービス プロファイルを検索する順序を指定します。 デフォルトの検索順序はリモートで、これは SSG がサービス プロファイルを RADIUS サーバ上で検索することを意味します。	グローバル
ssg tcp-redirect	SSG TCP リダイレクションおよび SSG リダイレクト モードをイネーブルにします。	グローバル
ssg vc-service-map <i>service-name</i> [interface <i>interface-number</i>] <i>start-vpi</i> <i>start-vpi/vci</i> [<i>end-vpi</i> <i>end-vpi/vci</i>] exclusive non-exclusive	Virtual Circuit (VC; 仮想回線) をサービス名にマップします。 デフォルトのサービス マッピングは、 non-exclusive です。	グローバル

スイッチング サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
clear	機能をリセットします。 show interface コマンドのカウンタを消去します。回線上のトラフィックを消去します。ログを消去します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
default	コマンドをデフォルト値に設定します。	グローバル インターフェイス
ip vrf forwarding	インターフェイスを VPN Routing/Forwarding instance (VRF;VPN ルーティング / 転送インスタンス) に対応づけます。 インターフェイスに対してこのコマンドを実行すると、IP アドレスが削除されます。IP アドレスの再設定が必要になります。	グローバル インターフェイス
mls rp	Multilayer Switching Protocol (MLSP; マルチレイヤ スイッチング プロトコル) コマンドを使用します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
mpls	(イネーブル EXEC) ルータ トラフィック エンジニアリングを設定します。トラフィック エンジニアリング タグ スイッチング コマンドを使用することによって、マルチプロトコル ラベル スイッチングをイネーブルにします。 (グローバル) Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) パラメータを設定します。 (インターフェイス) MPLS インターフェイス パラメータを設定します。	イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
show ip vrf	(VRF で VPN ID を設定している場合) 定義されている一連の VPN Routing/Forwarding Instance (VRF;VPN ルーティング / 転送インスタンス) と対応インターフェイスを表示します。 Virtual Private Network(VPN; 仮想私設網) に対応する固有の VRF を識別する場合には、vpn id コマンドを参照してください。	イネーブル EXEC
tagswitch	タグ スイッチング テスト / デバッグ コマンド。	イネーブル EXEC
tag-switching	(グローバル) ダイナミック タグ スイッチング コマンド。 (インターフェイス) タグ スイッチング インターフェイス コンフィギュレーション コマンド。	グローバル インターフェイス

端末動作特性のコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
default-value	デフォルトのキャラクタ ビット値。 フロー制御のデフォルト値を 7 ビット幅から 8 ビット幅に変更します。	グローバル
state-machine	TCP ディスパッチ ステート マシンを定義します。	グローバル
terminal	端末回線のパラメータを設定します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
terminal-queue	端末キューのコマンド。 端末ポート キューの再試行間隔を変更します。	グローバル
where	アクティブ接続のリストを指定します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC

端末サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
busy-message	ホストに接続できなかった場合に、メッセージを表示します。	グローバル
connect	端末接続を開始します。 (ユーザ EXEC) Telnet を使用して装置に接続します。 (イネーブル EXEC) Telnet、rlogin、または LAT をサポートするホストにログインします。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
login	特定のユーザとしてログインします。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
login-string	ホスト固有のログイン文字列を定義します。	グローバル
logout	EXEC を終了します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
resume	アクティブなネットワーク接続を再開します。 開始されている別の Telnet、rlogin、LAT、または PAD セッションに移動します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
resume-string	ホスト固有の再開文字列を定義します。	グローバル
rlogin	rlogin 接続を開始します。 (グローバル) リモート ログイン コンフィギュレーション コマンド。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル
session-limit <i>session-number</i>	1 回線の最大端末セッション数を設定します。	ライン
slip	Serial-Line IP (SLIP) を使用してリモート ホストとのシリアル接続を開始します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
telnet	Telnet セッションを開始します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC

トラブルシューティングおよび障害管理のコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
debug	デバッグ機能をイネーブルにします (undebug コマンドも参照) 。 debug コマンドの出力およびエラー メッセージを現在の端末セッションに表示します。	イネーブル EXEC
debug pppoe { event error packet data } [rmac remote-mac-address interface interface-number [vc { [vpi/]vci vc-name }]]	MAC 単位、VC 単位、およびインターフェイス単位で PPPoE デバッグ機能をイネーブルにします。	インターフェイス PVC
exception	例外処理を実行します。	グローバル
logging	(グローバル) メッセージ ログ ファシリティを変更します。ログを保管または削除します。 (インターフェイス) インターフェイスのログを設定します。Syslog サーバにメッセージを記録します。	グローバル インターフェイス
ping	Internet Control Message Protocol (ICMP) エコー メッセージを送信します。 インターフェイスの接続能力を検証します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
posd	一時的な OC-12 POS デバッグ ツールキット。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
test	サブシステム、メモリ、およびインターフェイスをテストします。	イネーブル EXEC
tracert	ルートを宛先まで追跡します。 送信元ポートから指定の宛先まで、データが流れる経路を調べます。	イネーブル EXEC
tracerte	ルートを宛先まで追跡します。 送信元ポートから指定の宛先まで、データが流れる経路を調べます。	ユーザ EXEC
undebug	デバッグ機能をディセーブルにします (debug コマンドも参照) 。	イネーブル EXEC

SONET および T3 コントローラ コンフィギュレーション コマンド

表 3 に、SONET コントローラ コンフィギュレーション モードで使用できるコマンドを示します。

表 4 に、T3 コントローラ コンフィギュレーション モードで使用できるコマンドを示します。



(注) これらのコマンドについての詳細は、『[Cisco 10000 Series Internet Router Software Configuration Guide](#)』を参照してください。

表 3 SONET コントローラ コンフィギュレーション モードのコマンド

コマンド	説明
clock	OC-12 コントローラのクロック ソースを指定します。
description	コントローラを記述します。
help	対話式ヘルプシステムを記述します。
loopback	OC-12 回線全体をループバックさせます。
path	チャネライズド SONET コントローラ上で STS-1 パスを作成します。
shutdown	OC-12 コントローラをシャットダウンします。

表 4 T3 コントローラ コンフィギュレーション モードのコマンド

コマンド	説明
cablelength	フィート単位で表したケーブル長 (0 ~ 450)。
channelized	DS3 のチャネライズド モードを設定します。
clock	T3 リンクのクロック ソースを指定します。
description	コントローラを記述します。
equipment	ループバック モードの装置タイプを指定します。
framing	T3 リンクのフレーミング タイプを指定します。
help	対話式ヘルプシステムを記述します。
idle	T3 インターフェイス上の全チャンネルに対してアイドル パターンを指定します。
loopback	T3 回線全体をループバックさせます。
mdl	Maintenance Data Link の設定。
shutdown	DS3 リンクをシャットダウンします (DS3 Idle を送信)。
t1	T1 チャンネルを作成または変更します。

その他のコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
<1-99>	再開するセッション番号。 Network Management Station (NMS; ネットワーク管理ステーション) で Telnet と他のセッションを切り替えます。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
access-list	アクセス リスト エントリを追加します。	グローバル
authen before-forward	ユーザ単位のトンネル選択機能を設定します。	VPDN グループ コンフィギュレーション
bandwidth	帯域幅情報パラメータを設定します。	インターフェイス
card	ダイナミック Cisco 10000 シリーズ ルータ カードを作成します。 Cisco 10000 シリーズ ルータ ライン カード用のスロットを事前に設定します。	グローバル
cdp	(グローバル) グローバル Cisco Discovery Protocol コンフィギュレーション サブコマンド。 (インターフェイス) CDP インターフェイス サブコマンド。	グローバル インターフェイス
chain-cache	パーサー チェーン キャッシュを制御します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル
dialer-group	ダイヤラ リストにインターフェイスを追加します。	インターフェイス
dss	dss パラメータを設定します。	グローバル
hw-module	リセットしてライン カードをシャットダウンします。 PRE を含めてすべてのカードをリセットします。	イネーブル EXEC グローバル
idle-character	アイドル キャラクタ タイプを設定します。	インターフェイス
initiate-to ip <i>ipaddress</i> [<i>limit limit-number</i>] [<i>priority priority-number</i>]	トンネルの反対側の IP アドレスを指定します。	VPDN グループ コンフィギュレーション
ip	(グローバル) IP コンフィギュレーション サブコマンド。 (インターフェイス) IP コンフィギュレーション コマンド。ポートおよびインターフェイスに IP サービスを設定します。	グローバル インターフェイス
ipc	IPC システムを設定します。	グローバル
isis	IS-IS コマンド。	インターフェイス
iso-igrp	ISO-IGRP インターフェイス サブコマンド。 ISO IGRP 隣接関係の設定をフィルタリングします。	グローバル
kerberos	Kerberos を設定します。	グローバル
loopback	インターフェイス上に内部ループバックを設定します。	インターフェイス
mac-address	MAC アドレスを手動で設定します。	インターフェイス
map-class	スタティック マップ クラスを設定します。 dialer map コマンドと共用するパラメータを定義します。	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
map-list	スタティック マップ リストを設定します。 マップ グループを指定し、ローカル E.164 または X.121 送信元アドレスおよびリモート E.164 または X.121 宛先アドレスに結合します。	グローバル
priority-list	プライオリティ リストを作成します。 プロトコル タイプに基づいてキューイング プライオリティを設定します。これは、Logical Unit (LU; 論理装置) アドレスに基づいてキューイング プライオリティを設定する手順の 1 つです。	グローバル
protocol pppoe [group <i>pppoe-group-name</i>]	<i>pppoe-group-name</i> で指定された PPP over Ethernet (PPPoE) グループで定義されている PPPoE コンフィギュレーションを VC 上の PPPoE セッションに使用させることを指定します。 PPPoE グループを指定しなかった場合、PPPoE セッションはグローバル コンフィギュレーションを使用します。	PVC PVC レンジ PVC インレンジ VC クラス ATM
rmon	イーサネット インターフェイスのリモート モニタリング。	グローバル
router	ルーティング プロセスをイネーブルにします。 各種ルーティング プロトコルをイネーブルにします。	グローバル
rtr	Response Time Reporter (RTR) の基本設定。 RTR プローブを設定します。	グローバル
setup	setup 機能を実行します。 シスコ製品の初期設定を支援します。	イネーブル EXEC
snmp	SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) インターフェイス パラメータを変更します。	インターフェイス
snmp-server	SNMP パラメータを変更します。	グローバル
syscon	システム コントローラを設定します。	グローバル
systat	端末回線情報を表示します。 ルータ上のアクティブ回線に関する情報を表示します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
tacacs-server	TACACS クエリ パラメータを変更します。	グローバル
tftpload	TFTP を使用してライン カード イメージをロードします。	イネーブル EXEC
timeout	このインターフェイスのタイムアウト値を定義します。	インターフェイス
vpdn authorize domain	ドメインを事前認証できるようにします。	VPDN グループ コンフィギュレーション
vpdn multihop	Virtual Private Dialup Network (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網) マルチホップ機能をイネーブルにします。	グローバル
vpdn search-order {dnis domain domain dnis domain dnis}	サービス プロバイダ ネットワーク アクセス サーバによる VPDN トンネル認証検索の実行方法を指定します。	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
vpn id <i>oui:VPN-index</i>	<p>ネットワーク内のすべての VHG および PE ルータにおいて固有のものとして、VPN に対応する VPN Routing/Forwarding instance (VRF;VPN ルーティング/転送インスタンス) を指定します。</p> <p>ルータの全 VRF を対応づけられた VPN-ID とともに表示するには、イネーブル EXEC モードで show ip vrf id コマンドを入力します。show ip vrf id コマンドを入力しても、VPN ID が設定されていない VRF は表示されません。</p>	VRF コンフィギュレーション
vpn service <i>domain-name</i>	<p>(ATM VC コンフィギュレーション) 指定の Permanent Virtual Circuit (PVC; 相手先固定接続) 上でドメイン名を設定します。</p> <p>(ATM VC クラス コンフィギュレーション) VC クラス内の全仮想回線上でドメイン名を設定します。</p>	<p>ATM VC コンフィギュレーション</p> <p>ATM VC クラス コンフィギュレーション</p>



Numerics

1-99 コマンド 33

A

aaa group server radius コマンド 24
aaa コマンド 5
access-enable コマンド 19
access-list コマンド 33
access-profile コマンド 5
access-template コマンド 19
alias コマンド 9
aps コマンド 15
arp コマンド 18
associate コマンド 24
async-bootp コマンド 9
atm pxf queuing コマンド 6
atm コマンド 15
authen before-forward コマンド 33
autodetect コマンド 15
auto-sync コマンド 24

B

backup コマンド 15
bandwidth コマンド 33
banner コマンド 12
bba-group pppoe コマンド 10
bert コマンド 15
bgp-policy コマンド 23
bgp コミュニティ スtring 23
boot コマンド 11
buffers コマンド 9
busy-message コマンド 30

C

cablelength コマンド 32
calendar コマンド 9
card コマンド 33
carrier-delay コマンド 15
CAR (専用アクセス レート) 23
cdp コマンド 33
cd コマンド 11
chain-cache コマンド 33
channelized コマンド 32
class-map コマンド 23
class コマンド 23
clear facility-alarm コマンド 7
clear pppoe
 all コマンド 13
 interface コマンド 13
 rmac コマンド 13
clear pxf
 interface コマンド 20
 statistics コマンド 20
clear ssg
 Host コマンド 25
 next-hop コマンド 25
 pending-command コマンド 25
 service コマンド 25
clear コマンド 29
CLNS 宛先 19
clns コマンド 19
clock コマンド 9, 32
compress コマンド 15
configure
 コマンド 12
 モード 7
confreg コマンド 11
connect コマンド 30
controller コマンド 13
copy コマンド 11

CPU プロセス ハンドリング 9
 crc コマンド 15
 create on-demand コマンド 5, 6

D

dbs enable コマンド 6

DCAR

分散 CAR ポリシーを参照

DDR

Dial-on-Demand Routing を参照

debug

atm autovc 6
 ssg ctrl-errors コマンド 25
 ssg ctrl-events コマンド 25
 ssg ctrl-packets コマンド 25
 ssg data コマンド 25
 ssg errors コマンド 25
 ssg events コマンド 25
 ssg packets コマンド 25
 ssg tcp-redirect コマンド 25
 コマンド 31

default-value コマンド 30

default コマンド 29

delay コマンド 15

delete コマンド 11

description コマンド 13, 32

DHCP

ip dhcp pool コマンド 13

dialer-group コマンド 33

dialer コマンド 13

Dial-on-Demand Routing 13

dir コマンド 11

disable コマンド 7

disconnect コマンド 13

down-when-looped コマンド 15

DS3 リンク 32

dss コマンド 33

dsu コマンド 15

duplex コマンド 16

E

enable コマンド 7

encapsulation

aal5autoppp virtual-template コマンド 10

コマンド 16

end コマンド 7

equipment コマンド 32

erase コマンド 11

exception コマンド 31

exit コマンド 7

F

facility-alarm コマンド 7

failover コマンド 24

file コマンド 11

format コマンド 11

frame-relay interface-queue

fair コマンド 15

priority コマンド 15

frame-relay コマンド 15

framing コマンド 16, 32

full-duplex コマンド 16

H

half-duplex コマンド 16

help コマンド 7, 32

hold-queue コマンド 16

hostname コマンド 9

hw-module コマンド 33

I

ICMP エコー メッセージ 31

idle-character コマンド 33

idle-timeout コマンド 6

idle コマンド 32

initiate-to ip コマンド 33

interface virtual template コマンド 16

interface コマンド 16

IP

アドレス マッピング 18

ポート上のサービス 33

マルチキャスト パケット レートの表示 18

ip

address-pool dhcp-pool コマンド 13

dhcp pool コマンド 13

mtu コマンド 19

- pxf ignore コマンド 19
 - tcp path-mtu-discovery コマンド 19
 - vrf forwarding コマンド 29
 - コマンド 33
 - コンフィギュレーション コマンド 33
 - ipc コマンド 33
 - isis コマンド 33
 - iso-igrp コマンド 33
- K**
- keepalive コマンド 15
 - kerberos コマンド 33
 - key コマンド 18
- L**
- l2tp tunnel retransmit initial
 - retries コマンド 13
 - timeout コマンド 13
 - line コマンド 13
 - load-interval コマンド 9
 - loadsharing コマンド 14
 - lock コマンド 12
 - logging コマンド 31
 - login-string コマンド 30
 - login コマンド 30
 - logout コマンド 30
- M**
- mac-address コマンド 33
 - main-cpu コマンド 24
 - map-class コマンド 33
 - map-list コマンド 34
 - match class-map コマンド 23
 - mdl コマンド 32
 - menu コマンド 12
 - mkdir コマンド 11
 - mls コマンド 29
 - more コマンド 11
 - mpls コマンド 29
 - mrinfo コマンド 18
 - mstat コマンド 18
 - mtrace コマンド 18
 - mtu コマンド 17
 - multilink-group コマンド 14
 - multilink コマンド 14
- N**
- name-connection コマンド 12
 - netload 要求 9
 - network-list コマンド (SSG リダイレクト) 25
 - network コマンド (SSG リダイレクト) 25
 - NME ポート、自動ネゴシエーション 16
 - no コマンド 8
 - ntp コマンド 9
- O**
- OC-12
 - コントローラ 32
 - コントローラのシャットダウン 32
 - ループバック回線 32
 - origin コマンド 13
- P**
- path コマンド 32
 - PA レベル 23
 - ping コマンド 31
 - police コマンド 23
 - policy-map コマンド 23
 - port-list コマンド (SSG リダイレクト) 25
 - port コマンド (SSG リダイレクト) 25
 - posd コマンド 31
 - pos コマンド 17
 - pppoe
 - limit max-sessions コマンド 10
 - limit per-mac コマンド 10
 - limit per-vc コマンド 10
 - limit per-vlan コマンド 10
 - pppoe enable group コマンド 10
 - ppp コマンド 14
 - PPP セッション 5
 - PRE
 - 自動ネゴシエーション 16
 - priority-list コマンド 34
 - privilege コマンド 22

- prompt コマンド 9
- protocol pppoe group コマンド 34
- pulse-time コマンド 17
- pwd コマンド 11
- Q**
- QoS、サービスポリシーの設定 23
- QPPB、イネーブル 23
- queue-limit コマンド 23
- queue-list コマンド 23
- R**
- RADIUS 5
- radius-server retransmit コマンド 24
- radius-server timeout コマンド 24
- random-detect コマンド 23
- range コマンド 6
- rate-limit コマンド 23
- redirect captive initial default group duration コマンド 25
- redirect port-list to コマンド 25
- redirect unauthenticated-user to コマンド 25
- redirect unauthorized-service to コマンド 25
- redundancy コマンド 24
- reload コマンド 11
- rename コマンド 11
- resume-string コマンド 30
- resume コマンド 30
- rlogin コマンド 30
- rmdir コマンド 11
- rmon コマンド 34
- route-map コマンド 18
- router コマンド 34
- rsh コマンド 9
- rtr コマンド 34
- S**
- scheduler コマンド 9
- scramble コマンド 17
- send コマンド 12
- serial コマンド 17
- server-group コマンド (SSG リダイレクト) 26
- server コマンド (SSG リダイレクト) 26
- service コマンド 12
- session-limit コマンド 30
- set qos-groupe コマンド 23
- show
- atm
- pvc dbs コマンド 6
- pvc コマンド 6
- vc コマンド 7
- facility-alarm status コマンド 8
- ip
- vrf id コマンド 35
- vrf コマンド 29
- pppoe session
- all コマンド 14
- packets コマンド 14
- pxf
- interface コマンド 21
- microcode コマンド 22
- statistics コマンド 22
- pxf cpu
- access-lists コマンド 20
- buffers コマンド 20
- cef memory コマンド 20
- cef コマンド 20
- context コマンド 21
- mrout コマンド 21
- queue コマンド 21
- schedule コマンド 21
- statistics コマンド 21
- subblocks コマンド 21
- ssg
- binding コマンド 26
- connection コマンド 26
- direction コマンド 26
- host コマンド 26
- next-hop コマンド 26
- pending-command コマンド 26
- service コマンド 26
- tcp-redirect group コマンド 26
- vc-service-map コマンド 26
- tcp-redirect mappings コマンド 26
- コマンド 8
- shutdown コマンド 17, 32
- slip コマンド 30
- snmp-server コマンド 34
- snmp コマンド 34

- speed コマンド 17
 - squeeze コマンド 11
 - ssg コマンド
 - accounting 26
 - accounting interval 26
 - bind direction 27
 - bind service 27
 - default-network 27
 - enable 27
 - maxservice 27
 - next-hop download 28
 - profile-cache 28
 - qos police session 28
 - radius-helper 28
 - service-cache 28
 - service-password 28
 - service-search-order 28
 - tcp-redirect 28
 - vc-service-map 28
 - state-machine コマンド 30
 - STS-1
 - チャネライズド SONET コントローラ上でのパスの作成 32
 - syscon コマンド 34
 - systat コマンド 34
- T**
- T1
 - コマンド 32
 - チャンネル、作成 32
 - T3
 - リンク 32
 - ループバック回線 32
 - TACACS+ 5
 - tacacs-server コマンド 34
 - tag-switching コマンド 29
 - tagswitch コマンド 29
 - Telnet
 - コマンド 30
 - セッション間の切り替え 33
 - terminal-queue コマンド 30
 - terminal コマンド 30
 - test コマンド 31
 - tftpload コマンド 34
 - tftp-server コマンド 9
 - timeout コマンド 34
 - traceroute コマンド 31
 - tracerte コマンド 31
 - traffic-shape コマンド 23
 - Transmission Control Protocol (TCP) リダイレクト機能 25
 - transmit-interface コマンド 17
 - tunnel コマンド 14
 - tx-ring-limit コマンド 23
- U**
- undebug コマンド 31
 - undelete コマンド 11
 - username コマンド 22
 - utilization mark
 - high コマンド 13
 - low コマンド 13
- V**
- vc-class atm コマンド 7
 - verify コマンド 11
 - virtual-profile コマンド 14
 - virtual-template コマンド 10
 - vpdn
 - authorize domain コマンド 34
 - enable コマンド 14
 - multihop コマンド 34
 - search-order コマンド 14, 34
 - session-limit コマンド 14
 - vpdn-group コマンド 14
 - vpn
 - id コマンド 35
 - service コマンド 35
- W**
- where コマンド 30
 - which-route コマンド 19
 - write コマンド 24
- あ**
- アカウントティング 5

- アクセスリスト エントリ、作成 19
- アクティブ接続 30
- アップリンク インターフェイス 27
- 宛先、追跡 31

- い
- イーサネット 27
- 一時的なアクセス リスト エントリ 19

- え
- エコー メッセージ 31
- エラー メッセージ、端末セッション 31

- き
- キャラクタ ビット値 30
- 許可 5

- く
- クラス C フラッシュ ファイル 11

- け
- 現在の設定 11

- こ
- コマンド
 - 1-99 33
 - aaa 5
 - aaa group server radius 24
 - access-enable 19
 - access-list 33
 - access-profile 5
 - access-template 19
 - alias 9
 - aps 15
 - arp 18
 - associate 24
 - async-bootp 9
 - atm 15
 - atm pxf queuing 6
 - authen before-forward 33
 - autodetect 15
 - auto-sync 24
 - bandwidth 33
 - banner 12
 - bba-group pppoe 10
 - bgp-policy 23
 - boot 11
 - buffers 9
 - busy-message 30
 - calendar 9
 - carrier-delay 15
 - cd 11
 - cdp 33
 - chain-cache 33
 - channelized 32
 - class 23
 - clear 29
 - ssg host 25
 - ssg next-hop 25
 - ssg pending-command 25
 - ssg service 25
 - clear facility-alarm 7
 - clear pppoe
 - all 13
 - interface 13
 - rmac 13
 - clear pxf
 - interface 20
 - statistics 20
 - clns 19
 - clock 9, 32
 - compress 15
 - configure 12
 - confreg 11
 - connect 30
 - copy 11
 - crc 15
 - create on-demand 6
 - dbs enable 6
 - debug 31
 - atm autovc 6
 - pppoe 31
 - ssg ctrl-errors 25
 - ssg ctrl-events 25
 - ssg data 25

- ssg errors 25
- ssg events 25
- ssg packets 25
- ssg tcp-redirect 25
- debug ssg ctrl-packets 25
- default 29
- default-value 30
- delay 15
- delete 11
- description 13, 32
- dialer 13
- dialer-group 33
- dir 11
- disable 7
- disconnect 13
- down-when-looped 15
- dss 33
- duplex 16
- enable 7
- encapsulation 16
 - aal5autoppp virtual-template 10
- end 7
- equipment 32
- erase 11
- exit 7
- facility-alarm 7
- failover 24
- format 11
- frame-relay 15
- frame-relay interface-queue
 - fair 15
 - priority 15
- framing 32
- full-duplex 16
- half-duplex 16
- help 7, 32
- hold-queue 16
- hostname 9
- idle 32
- idle-timeout 6
- initiate-to ip 33
- interface 16
- interface virtual template 16
- ip 33
 - dhcp pool 13
 - mtu 19
 - pxf ignore 12tp df-bit 19
 - tcp path-mtu-discovery 19
 - vrf forwarding 29
 - address-pool dhcp-pool 13
- ipc 33
- isis 33
- iso-igrp 33
- keepalive 15
- kerberos 33
- key 18
- l2tp tunnel retransmit initial
 - retries 13
 - timeout 13
- line 13
- load-interval 9
- loadsharing ip 14
- lock 12
- logging 31
- login 30
- login-string 30
- logout 30
- loopback 32, 33
- mac-address 33
- main-cpu 24
- map-class 33
- map list 34
- match class-map 23
- mdl 32
- menu 12
- mkdir 11
- more 11
- mpls 29
- mrinfo 18
- mstat 18
- mtrace 18
- mtu 17
- multilink 14
- multilink-group 14
- name-connection 12
- network-list (SSG リダイレクト) 25
- network (SSG リダイレクト) 25
- no 8
- ntp 9
- origin 13
- path 32
- ping 31

- policy-map 23
- port-list (SSG リダイレクト) 25
- port (SSG リダイレクト) 25
- pos 17
- posd 31
- ppp 14
- pppoe
 - limit max-sessions 10
 - limit per-mac 10
 - limit per-vc 10
 - limit per-vlan 10
- pppoe enable group 10
- priority-list 34
- privilege 22
- prompt 9
- protocol pppoe group 34
- pulse-time 17
- pwd 11
- queue-limit 23
- queue-list 23
- radius-server retransmit 24
- radius-server timeout 24
- random-detect 23
- range 6
- rate-limit 23
- redirect captivate initial default group duration 25
- redirect port-list port to 25
- redirect unauthenticated-user to 25
- redirect unauthorized-service to 25
- redundancy 24
- reload 11
- rename 11
- resume 30
- resume-string 30
- rlogin 30
- rmdir 11
- rmon 34
- route-map 18
- router 34
- rtr 34
- scheduler 9
- send 12
- serial 17
- server-group (SSG リダイレクト) 26
- server (SSG リダイレクト) 26
- service 12
- service-policy 23
- session-limit 30
- set qos-group 23
- setup 34
- show
 - atm pvc 6
 - atm pvc dbs 6
 - atm vc 7
 - facility-alarm status 8
 - ip vrf 29
 - ip vrf id 35
 - pxf cpu access-lists 20
 - pxf cpu buffers 20
 - pxf cpu cef 20
 - pxf cpu cef memory 20
 - pxf cpu context 21
 - pxf cpu mroute 21
 - pxf cpu queue 21
 - pxf cpu schedule 21
 - pxf cpu statistics 21
 - pxf cpu subblocks 21
 - pxf interface 21
 - pxf microcode 22
 - pxf statistics 22
 - ssg binding 26
 - ssg connection 26
 - ssg direction 26
 - ssg host 26
 - ssg next-hop 26
 - ssg pending-command 26
 - ssg service 26
 - ssg tcp-redirect group 26
 - ssg vc-service-map 26
 - tcp-redirect mappings 26
- shutdown 17, 32
- slip 30
- snmp 34
- speed 17
- squeeze 11
- ssg コマンド
 - accounting 26
 - accounting interval 26
 - bind direction 27
 - default-network 27
 - enable 27
 - maxservice 27

- next-hop download 28
 - profile-cache 28
 - qos police session 28
 - radius-helper 28
 - service-cache 28
 - service-password 28
 - service-search-order 28
 - ssg bind service 27
 - tcp-redirect 28
 - vc-service-map 28
 - state-machine 30
 - syscon 34
 - systat 34
 - t1 32
 - tacacs-server 34
 - tagswitch 29
 - tag-switching 29
 - telnet 30
 - terminal-queue 30
 - test 31
 - tftpload 34
 - tftp-server 9
 - timeout 34
 - traceroute 31
 - traffic-shape 23
 - transmit-interface 17
 - tunnel 14
 - tx-ring-limit 23
 - undebug 31
 - undelete 11
 - username 22
 - utilization mark
 - high 13
 - low 13
 - vc-class atm 7
 - verify 11
 - virtual-profile 14
 - virtual-template 10
 - vpdn
 - authorize domain 34
 - multihop 34
 - search-order 14, 34
 - session-limit 14
 - vpdn enable 14
 - vpdn-group 14
 - vpn
 - id 35
 - service 35
 - where 30
 - which-route 19
 - コントローラ 13
 - セッション
 - 最大 10
 - バックアップ 15
 - ポイントツーポイント 14
 - コミュニティ スtring 23
 - コンフィギュレーション モード、終了 7
- さ
- 再開セッション番号 33
 - 作業ディレクトリ、表示 11
- し
- 時刻、設定 9
 - システム コントローラ、設定 34
 - 自動ネゴシエーション モード 16
 - 終了、端末セッション 7
- す
- スタートアップ 24
 - スタティック ARP エントリ、設定 18
 - スロット / サブスロット / ポート レベルのコマンド 33
 - スロット、事前設定 33
- せ
- セキュリティ コマンド 5
 - セッション
 - 終了 7
 - セッション番号 33
 - 接続
 - rlogin 30
 - serial 30
 - アクティブ 30
 - 非同期 14

そ

送信リング制限 23

た

ダウンリンク インターフェイス 27

端末セッション

エラー メッセージ 31

終了 7

デバッグ出力 31

ち

チャネライズド SONET コントローラ 32

調整、ファイルのパラメータ 11

て

ディレクトリ、表示 11

データの経路、判別 31

デバッグ

pppoe コマンド 31

コマンド 31

と

トークンリング 27

な

内部ループバック 33

に

認証 5

認証属性、適用 5

ね

ネットワーク管理ステーション (NMS) 33

は

パスワード

アクセス制限 5

一時的 12

バッファ、プールの設定値 9

パラメータ

bandwidth 33

dialer map 33

dss 33

MPLS 29

pos 17

privilege 22

scheduler 9

SNMP 34

TACACS 34

調整 11

バックアップ 15

バンドル、インターフェイス 14

ひ

ビット幅、フロー制御 30

ふ

ファイル、削除取り消し 11

ファストイーサネット 27

プライオリティ設定、キュー 23

プロトコル

PPP (ポイントツーポイント) 14

ルーティング 34

分散 CAR (DCAR) ポリシー 23

ほ

ポイントツーポイント プロトコル 14

ポート、送信元 31

ホストエラー 30

め

メモリ、テスト 31

も

モード、冗長構成 24

ゆ

ユーザ プロファイル、作成 5

ら

ラインカード

イメージ、ロード 34

り

リモート モニタリング 34

る

ループバック

OC-12 回線 32

コマンド 32, 33

モード 32